

「知識で変わる歯のかたち ～天然歯形態再現のポイント～」

i- Dental Lab 伊原 啓祐

本講演では、経験の浅い歯科技工士、後輩への指導を担当する方、そしてさらなるスキルアップを望む方々を対象に、天然歯形態を再現するためのポイントを解説します。天然歯には歯種ごとに一定の規則性があり、それらを理解することで、普段行っている感覚的な作業が、知識に基づいた理論的な作業に変化します。これが『知っていればできる』ということであり、これを増やすことで、効率的な技術向上が可能であると考えています。

今回は、大白歯と前歯部に焦点を当て、天然歯形態の解説と臨床への応用法についてお話しします。明日からの臨床に役立てていただければ幸いです。

略歴

2001年 日本歯科大学附属歯科専門学校 卒業
2002年 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 基礎課程 修了
2003年 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 上級課程 修了
2003年 株式会社 オーリアラ 勤務
2005年 有限会社 エースデント 勤務
2006年 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 勤務
2022年 i- Dental Lab 開設

クラレノリタケデンタル公認インストラクター

主な執筆

2016年1月 QDT MASTER PIECE 「調和を目指すさまざまなアプローチ」掲載
2017年1月～ QDT 連載「知識で変わる歯のかたち」(1～7月, 5月は休み)
2020年7月 日本歯科評論「症例に応じたマテリアルセレクション ジルコニア補綴における材料選択」
2021年1.2月 QDT「不十分な条件からの形態回復の工夫 審美領域の形態表現におけるチェアサイド・ラボサイドの取組み」
2021年8月 QDT MASTER PIECE 「調和を求めて ー天然歯支台症例ー」掲載
2023年12月 QDT MASTER PIECE 「調和を求めて ーフェイシャルカットバック症例ー」
2024年1月～ QDT 連載「基礎から学ぶ フェイシャルカットバック法を用いた陶材築盛」(1～6月)